

3000万人署名 各地でこんな取組みが——⑧

東京都 「守ろう平和憲法大島連絡会」は、島には駅も繁華街もないので、手作りの旗と横断幕（5・3憲法集会のプラカード・コンクールで入賞！）を立て、街頭宣伝を数回実施。車いすの仲間は、80年以上の人生経験から平和の尊さを切々と語り、別の仲間は、憲法後、日本国憲法に先駆けて島民自らの手でつくった憲法「大島憲章」を語り、先人たちの平和への熱い思いを引き継いでいこうと訴え。車上から手を振る人、車を止めて話しかけてくる人もいて、とても良い反応。署名用紙と連絡会のチラシ（3500枚を新聞折り込み）を手に戸別訪問、対話をしながら署名活動を進めている。有権者の3割の2000人が目標で、5月3日現在で1650人。目標達成とともに、島民と語り合い、平和への想いを引き継いでいく活動を続ける。

福島県 56団体の署名到達数11万2956人（目標の24%）。57市町・団体の5月26日現在の達成状況も詳細に集約している。

東京都 「ねりま9条の会」の各会では、5月末までの署名用紙・返信封筒の全戸配布に取組み、練馬区で10万枚を超えた。「品川総がかり実行委員会」は5月27日、13団体、20人で武蔵小山駅前でも署名活動。歌や三線、9条全文のタペストリーや手作りプラカードなど人目を惹くスタイルで、はがき型署名用紙も150枚配布。

長野県 上田市の「城下9条の会」は5月30日、全国一斉街宣・署名週間の呼びかけにこたえて地域訪問行動。「9条の会です」と告げると「サインします」とすぐ応える若い女性、ガーデニング中の女性も「はい、喜んで」。安倍政権に「言い訳ばかり」と怒る男性は、働き方改革法案にも「ひどすぎる」。城下地域は人口約1万3000人。署名目標は3000人で1170人を超えた。約270人の会員に署名用紙を手渡し、回収日を決めて、ニュースで経験を知らせている。

北海道 「九条ネットワーク北海道」は目標100万人で、5月末現在で65万6000人（65・6%）の署名を集約している。

東京都 50年代からの宝塚ファンの女性二人は、「平和であってこそその宝塚劇場！」と、2015年12月に「宝塚ファン・9条の会」を立ち上げたが、今年5月31日、「戦時中、宝塚レビューは禁止され、大劇場は海軍に接収されて予科練の宿舎になり、宝塚の生徒らは各地の日本軍の慰問公演に動員されていたのです。お芝居も検閲とかで自由にできません。…」というチラシを東京宝塚劇場の前で配って署名を呼びかけた。とても緊張したが、署名をしてくれた夫婦は、「これから観劇です」と会場に向かった。

九条の会 「九条の会」は6月1日、「3000万人署名を達成し、安倍9条改憲に終止符を」というアピールを発売した。安倍政権と自民党の誤った路線や狙いなどをコンパクトにまとめ、3000万人署名達成の重要性を強調している（同会のHPに掲載）。

東京都 カトリックのシスターをはじめキリスト者や仏教、神道などの宗教者78人と応援（？）の保守系グループなども含め約100人が6月2日、炎天下の新宿駅西口で2回目の署名活動。スピーチと歌を織り交ぜた訴えに足を止める通行人も。この日の署名は174人。

茨城県 横須賀市民九条の会のM・Yさんは、茨城県の姪から1か月で100筆が送られてきて驚いた。姪は、「集団的自衛権についてTV等で少し知識があったこと、男の子の母になったこと、戦争体験者の方が賛同し署名活動をしてくれたことから、署名活動を行った。夏休み

に住んでいる地域の戦争について調べたことがあり、戦争は二度と起こしてはいけないと感じたときに署名の話をもらった。職場で署名をお願いしたら、賛否いろんな人がいたが、80代の女性が『戦争は絶対ダメ。繰り返してはいけない』と言い、署名用紙を沢山コピーしてありとあらゆる知り合いをお願いしてくれた。それに賛同した方がさらに署名活動をして、たくさんの署名が集まった。そんな姿を見て、自分も活動せずにいらなかった」という。

長野県 長和（ながわ）町の「安倍9条改憲NO！長和町長民アクション」は6月6日、署名が「町民人口の3分の1の目標（2000人）を超えて2082人となった」と記者会見で発表。町民アクションは、「長和町9条の会」が呼びかけ、元町長や住職、議員、元議員など多彩な45人が呼びかけ人になり、今年1月に発足。呼びかけ人、賛同人の名前を載せたチラシを3月に全戸配布（これが効果的）、全国市民アクションのポスターを45人の呼びかけ人が自宅の郵便受けのそばに貼るなど工夫。メンバーが組をつくり近所や知り合いなど戸別訪問を進めている。